



しゅうちゅうこうう ないすいはんらん
集中豪雨による内水氾濫



ぼうふう てんとう おおがけしや
暴風により転倒した大型車



こうずいご
バン格拉ディッシュの洪水後



ほっきょくけん
北極圏のホッキョクグマ

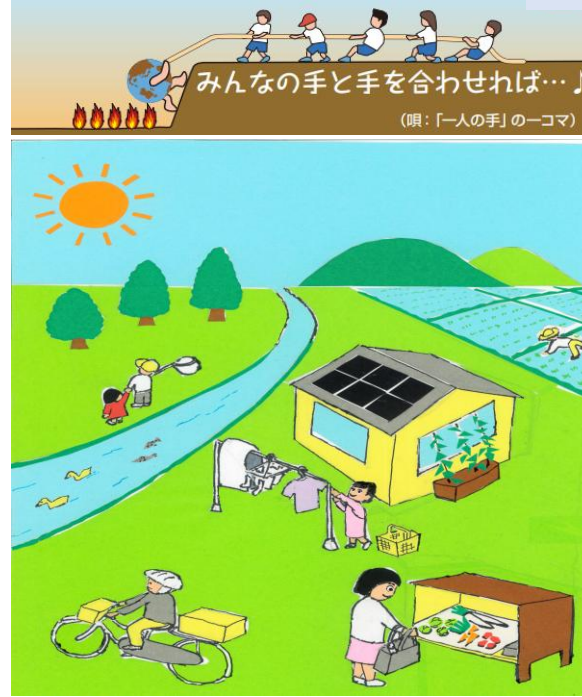


ちいき ひあ めま
サヘル地域の干上がる沼



いっしょ こうどう
一緒に行動しませんか？ (※8)
うつく しぜん つぎ せだい
美しい自然を次の世代へ！

- ★自然を生かした、CO₂の少ない暮らし。
- ★賢い買い物で、作る～捨てるものを少なく。
- ★エコなかまを増やし、大きな“ちから”に。



みんなの手と手を合わせれば…♪

(唄：「一人の手」の一曲)

えがお
エコライフでみんな笑顔！
せかいじゅう
世界中のいきものたち

彩の国環境大学修生の会

埼玉県が運営する埼玉県環境科学国際センターが、毎年開講している「彩の国環境大学」の修生及び環境問題に関心をもっている県民有志により結成されています(設立1998年)。2021年には地域環境保全功労者として環境大臣表彰を受賞しました。埼玉県より委嘱された埼玉県地球温暖化防止活動推進員が編集に参画しています。発行 2026年5月



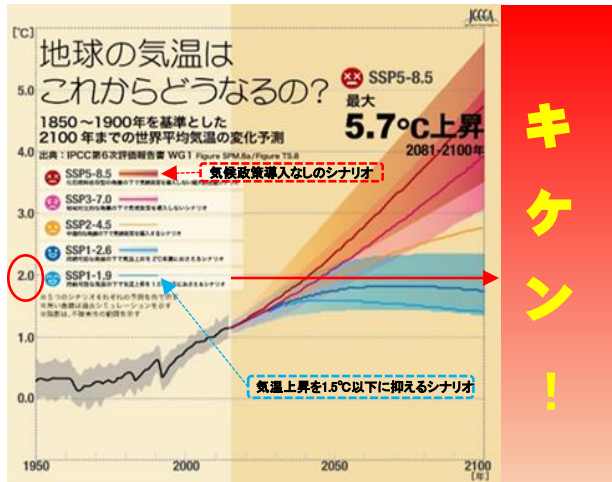
環境問題解決は
「できることから始めよう」

STOP!

おんだんか

温暖化

～エコライフのすすめ～ Rev.1.



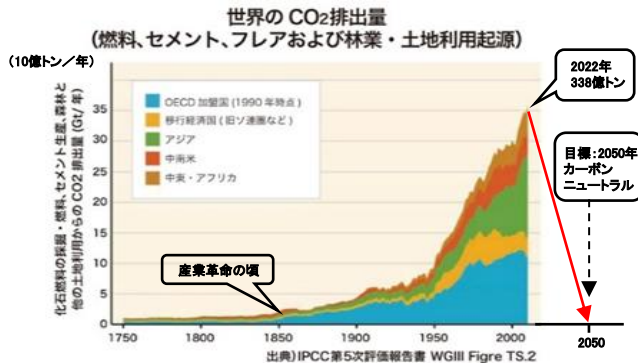
ねん せかいへいきんきおん へんかよそく
2100年までの世界平均気温の変化予測 (※3)



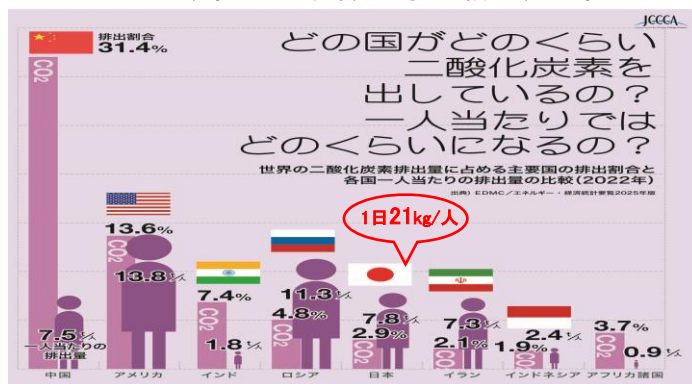
さいのくにかんきょうだいがくしゅうりょうせい かい
彩の国環境大学修生の会

地球があぶない！

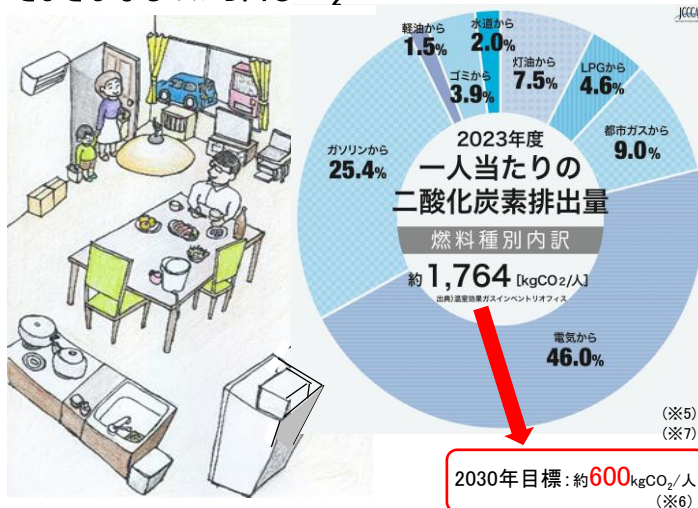
地球の温暖化で**猛暑**(※1)や**豪雨・強風**が増え、世界では干ばつや山火事も増え、海面も上昇しています。**食料不足**も心配され、私たちや他のいきものたちの生存も脅かしています。原因は**二酸化炭素(CO₂)**を主体とした**温室効果ガスの増加**です(※2)。



私たち日本人は1人当たり1日21kgのCO₂を排出しています。これは**世界平均の2倍**です(※4)。



さまざまなものから出るCO₂



いま、私たちにできること

未来のためのチャレンジ10

- 1 節電をしましょう。
- 2 自動車を控え、自転車・バス・電車を利用しましょう。
- 3 水道やガス・灯油も節約しましょう。
- 4 生産から運搬・使用・廃棄までCO₂排出量の少ないものを購入しましょう。
- 5 地元産で旬の農作物を選んで食べましょう。
- 6 物を大切に使い3R(削減・再使用・再利用)を心がけましょう。
- 7 食品ロスを減らしましょう。
- 8 浄化の負担となる生活排水を極力少なくしましょう。
- 9 森林はCO₂を吸収するので、大切にしましょう。
- 10 CO₂削減に取り組む企業や団体を支援しましょう。

解説

- ※1 熊谷市では、2025年の35℃以上の**猛暑日**が**53日**と県最多記録。
- ※2 CO₂の濃度は200年前に比べて1.5倍に増えています。(280→420ppm)。CO₂は石炭やガソリン等の石油製品などの燃焼でたくさん発生しています。
- ※3 世界の平均気温の上昇幅が1.5℃を超えると人間や生態系にとって深刻で広範囲にわたる不可逆な悪影響を及ぼす可能性が高まり、2℃はさらに危険と予測されています(IPCC第6次報告書参照)。
- ※4 日本の2023年のCO₂排出量は10億トンで中国・米国・インド・ロシアに次いで5位の多さ。
- ※5 この円グラフでは、1日1人当たり5kgとなりますが、食べ物や衣服、雑用品などの購入品分は含まれていません。
- ※6 政府は、家庭のCO₂削減目標を2013年基準の66%としています。
- ※7 以上の写真及び図表は、JCCCAホームページから引用。
- ※8 “行動”のためのおすすめ本(各HPから入手できます):
 - ・JCCCA発行「地球温暖化防止ハンドブック」
 - ・気候ネットワーク「気候アクションガイド」

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)では、地球の平均気温上昇を産業革命前と比べて2℃以下に抑える目標を立て、温室効果ガスの排出を2030年までに2010年水準から半減、**2050年前後に正味ゼロ**を求めています。しかし**実現は厳しい状況**です。